

# 八鹿病院 ニュース



2014年  
7月号

地域に暮らす人々と共に  
心あたたかな医療をすすめたい



「炎症性腸疾患外来」  
開設しました！

● yoka hospital 「医療」

## 知っていますか？ 炎症性腸疾患

潰瘍性大腸炎  
クローン病

- 新院長就任ごあいさつ
- お産の受け入れ対象が変わりました
- 現場レポート！「臨床工学科」
- トピックス

### 公立八鹿病院基本理念

私たちは、地域中核病院として、医の倫理を基本に、質の高い医療と優れたサービスをもって、住民の健康を守り、地域の発展に尽くします。



当院は敷地内全面禁煙です  
ご協力宜しくお願い致します

# 知っていますか？ 炎症性腸疾患

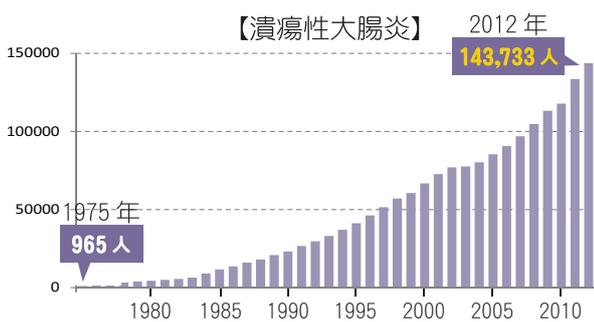
潰瘍性大腸炎 クローン病

## 7月から 専門外来を開設しました

この但馬地方に暮らす患者さんにも都市部と大差のない標準的な診療を安心して受けていただけることを目的として、当院ではこのたび「炎症性腸疾患外来」を立ち上げました。

しみず たつり  
内科 清水 辰宣

年度別患者数の推移



出典元：難病情報センターホームページ 特定疾患医療受給者証交付件数（昭和50年度～平成24年度の推移）から作図



### 【潰瘍性大腸炎】

大腸の粘膜に、炎症やびらん・潰瘍などができる病気

直腸から連続的に口側に広がり、最大で直腸から結腸全体に広がる。



粘膜がもろく、出血しやすく白い粘液が出る典型的な内視鏡像。

長引く下痢、血便、腹痛、発熱などの症状で疑います。自然には治らないので、病院で検査を受けることが必要です。長期経過例で、大腸がんの危険性が高まることも指摘されています。

### 【クローン病】

口から肛門までの消化管の粘膜に炎症や深い潰瘍・瘻孔（穴）などが繰り返しできる病気

連続的ではなく、まだら状に病変ができる。



縦長の不整な潰瘍と数石状粘膜。スキップした大腸病変。

若い方の長引く貧血、腹痛、発熱などの症状で疑います。腹部症状がなく痔ろうが初発症状の場合や下痢がないこともあります。病悩期間が長いのに、なかなか診断がつかないこともあります。

炎症性腸疾患とは、主に10歳～20歳代の若い方に多く発症し、慢性的な下痢や血便などの症状をきたす原因不明の難病です。一般的には「潰瘍性大腸炎」と「クローン病」の二つの病気を指します。

もともと日本人にはとてもめずらしい病気でしたが、近年、食生活の欧米化などの影響で下のグラフの様患者数が急激に増加して

### 一人で悩まないで 相談を

います。病気がかかったあと患者さんが身体的、社会的に大きな負担を強いられることも大変問題です。

下痢、腹痛、痔ろうなど初めての症状は、なかなか病院にも相談しづらいことが多く、1～2年も診断が遅れることもあります。当院では、そういった症状を

— 増え続ける炎症性腸疾患の患者さんを地域でどう診るか —

## 潰瘍性大腸炎・クローン病は、 難病に指定されています

潰瘍性大腸炎・クローン病は、厚生労働省の特定疾患治療研究対象疾患（難病）に指定されています。診断された場合、特定疾患医療給付制度が適応され、医療費の援助を受けることができます。



## 炎症性腸疾患診療に関わる 主な部署紹介！

病状が多様であることから、治療方法の判断が難しいのが特徴ですが、最適な治療を最適なタイミングで行い、患者さんの社会復帰と生活の質が向上するよう各専門スタッフと連携して治療に取り組んでいます。



### ● 内科外来

医師とともに診察や治療がスムーズに行えるよう、院内各部署と連携し患者さんをサポートしています。

### ● 内視鏡センター

患者さんが少しでもリラックスした状態で大腸内視鏡検査を受けていただけるよう、患者さんの介助を行っています。



### ● MEセンター 透析センター

血液浄化療法を行う患者さんに安心して治療を受けていただけるよう、細かく状態をチェックしています。



### ● 栄養管理科

患者さんに合う食べ物が個々で違うため、栄養指導を行ったり、食材・調理方法・食形態を調整した入院食を提供しています。



## 個人個人に 最適な治療を選ぶ

熟知した経験豊富な医師が外来対応や内視鏡検査を行っていただきます。血液検査やCT検査でも特徴的な所見が出て、早期診断につながることも多いです。

炎症性腸疾患は、一人ひとりの症状が多様で、患者さんごとの治療が適しているかの選択が非常に難しい

病気です。一方で、うまく治療をすれば6割の方が安定した状態で、落ち着いた生活を送れるとも言われています。当院では病状に則して、栄養（食事）療法や薬物療法、血液浄化療法（CAPなど）といったすべての治療が保険適応内で受けられます。もちろん、免疫抑制剤やレミケード、ヒュミラといった強力な薬剤での治療も行っています。

## 身近で頼れる 病院を目指して

当院の炎症性腸疾患外来では、都市部の専門機関にどっぷりと依存しなくても、この但馬地域内で一人でも多くの患者さんに対応していきたいと考えています。そのためには、地域の開業医の先生方や、兵庫医科大学などの専門施設の先生方とも密に連携をとり

## 炎症性腸疾患外来の ご案内

【診察日】

毎週金曜日

午前11時～午後1時

内科外来（予約制）

【担当医】清水辰宣

ながら、地域の皆様に頼られる身近な病院となれるよう、今後とも努力したいと思います。

# 新院長就任 ごあいさつ



## 院長 谷風 三郎 (69 歳)

略歴	
1970 年	神戸大学医学部卒 一般外科研修後
1973-1978 年	神戸大学医学部泌尿器科教室助手
1978-2003 年	兵庫県立こども病院泌尿器科医長、同部長、同副院長・診療部長兼務
2003-2011 年	愛知県立あいち小児保健医療総合センター-外科部長、同副センター長 同センター長
2011-2014 年	彦坂泌尿器科部長 (神戸市)
趣味	魚釣り、読書、音楽を聴くこと
好きな言葉	「不撓不屈」「相思相愛」
但馬の印象	豊かな自然、特に清流があること

着任以降、様々な場面で挨拶する谷風院長。医師招聘や患者さんへのサービスにも力を入れ、日々、院内・院外問わず精力的に活動しています。



このたび新院長に着任いたしましたのでご挨拶申し上げます。

八鹿病院は昭和24年に開院し、以来65年間この地域の医療の中心を担ってきました。その間、右肩上がりに業績が向上したときもありましたが、現在多くの地方公立病院が抱える問題でもある絶対的な医師不足により、余裕のある医療が提供しづらい状況が続いております。このような状況を打開するためにも、次代を担う若手医師の獲得に奔走しておりますが、地理的な問題もあるのか苦戦を強いられているのが現状です。これからも医師獲得に向けて病院一体となり努力する所存であります。現在のところ診療科を減らすことなく維持しておりますが、科によっては一人医師や応援医師の診療となり、予約がとりづらい、待ち時間が長いなど、ご迷惑やご不自由

をおかけしておりますが、今しばらくご容赦いただきたいと思います。

当院では、救急医療も含めた急性疾患を扱うと同時に、慢性疾患や在宅医療にも力を注いでおります。今後の方針として先進的な医療を提供することはもちろんのこと、患者さんに寄り添うような優しい医療を提供し、できるだけ入院に頼らない在宅医療も進めていきたいと考えております。すでにこの地域では、高齢化が全国に先駆けて進んでおります。これから、我々が経験したことのない高齢化に対し、特化した予防医学を中心に、地域医療の「養父モデル」を皆様とともに構築していきたいと考えております。ご協力のほどよろしくお願い致します。

## 【産婦人科を受診される皆様へ】

# お産の受け入れ対象が変わりました

当院産婦人科医師2名の高齢化ならびに、「但馬こうのとり周産期センター（豊岡市）」オープン予定に伴い、平成27年1月以降に分娩される方の受け入れ対象が変わりました。

但馬の周産期医療を安定的に継続し、よりよいお産を皆様にお届けできるよう当院の役割を果たして参りたいと考えておりますので、ご理解をいただきたいと思っております。



平成27年1月以降  
当院でのお産が  
「可能」な方



次の条件に全て当てはまる妊婦さん

● **経産婦**（帝王切開の既往のない方）

● **院内助産制度が利用可能**

（糖尿病・気管支喘息など危険因子がなく、経過に異常がない方）

※初産婦の方など上記にあてはまらない方は、但馬こうのとり周産期センター（豊岡病院）での対応となります。

### <里帰り出産について>

上記条件に当てはまる方であれば当院での出産も可能です。一度ご相談ください。分娩件数など状況によってはお断りする場合がありますので、ご理解とご協力をお願い致します。

### <帝王切開を希望される方>

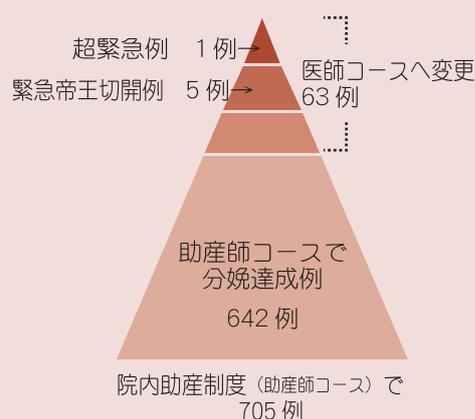
当院または日高医療センターで帝王切開を受けた経験のある方、骨盤位（逆子）の方は、一度ご相談ください。

◎不明点など、お気軽にお問い合わせください

【お問い合わせ】産婦人科外来

## 産科医の必要性

当院では、平成20年9月1日から助産師がお産をサポートする「院内助産制度」を開始しました。この制度では、産科医師不足の中で医師の負担を軽減するため助産師コースを設け、妊娠から出産・育児期まで助産師が継続的にサポートしています。平成25年12月末までの全分娩数1,456例中、705例の方が助産師コースを利用されました。しかし、実際には705例中63例の方が医師コースへ変更となり、帝王切開や子宮内反症（子宮がめくれてひっくり返る病気）が発生するなど緊急処置を要する方もありました。これらのことから医師が常時存在することの必要性もご理解いただけると思います。



# 臨床工学科 (MEセンター)



臨床工学科では、メディカルエンジニア (ME) として患者さんに使用される医療機器を医学的・工学的知識を用いて管理・操作しています。

多種多様な医療機器に医学的・工学的知識で対応しています

臨床工学技士という医療職種があることを皆さんご存知でしょうか？病院の中には様々な職種の医療従事者が働いており、臨床工学技士も臨床検査技師などと同じように国家資格を持ち医療従事者の一員として日々業務に励んでいます。

「縁の下の力持ち」となる仕事が多く、あまり目立ちませんが、進歩する医療機器に対応する医学的・工学的な知識を持つ専門技術者として、とても重要な仕事をしています。業務は、病院で日常的に使われている医療機器

が患者さんに対して安全に使用されるよう、機器の保守点検を行います。また、呼吸・循環・代謝など人間が生きていくうえで必要な機能を代行・補助する「生命維持管理装置」の操作も、医師の指示のもと行っています。臨床

工学技士は、一般的にME (Medical Engineer) と言われ、現在5名のスタッフが働いています。

## 院内で使用する医療機器の管理

院内で使用する人工呼吸器、輸液ポンプ、シリンジポンプ、酸素流量計、血圧計、補助循環装置、保育器など、現在約80種類、1,570台に対する点検や消耗品の交換などの保守管理を行っています。



MEセンターには院内で使用される様々な医療機器が集約されています。必要時、適正な機器や工具を使用し保守・点検を行います。

## 病棟ラウンド業務

人工呼吸器などの生命維持管理装置の点検を行い、医療機器の安全確保に努めています。





血液浄化装置の操作



人工透析装置の保守

## 腎臓機能の代行・血液浄化に使用する専用装置の操作・管理

透析センターでは、腎臓の悪い方の治療を行っており、透析を行うため患者さんに針を刺したり、人工透析装置の操作や保守を行います。また、薬物中毒や敗血症などで体内に溜まった毒素、自己免疫疾患の原因となる特定の物質を除去する血液浄化療法も行っています。

## 心臓カテーテル検査・治療の補助 ペースメーカーのチェック



心臓カテーテル検査



ペースメーカー点検

心臓カテーテル検査・治療時における医師の補助や心臓機能を手助けする補助循環装置の操作を行います。また、不整脈など心臓の調子が悪い方に使用するペースメーカーの植込みや定期点検の際、体内で問題なく機能しているかを測定します。

## 手術を円滑に 機材の点検

円滑に手術を行うため、手術室にて麻酔器・モニターなど、医療機器の点検を毎朝行っています。



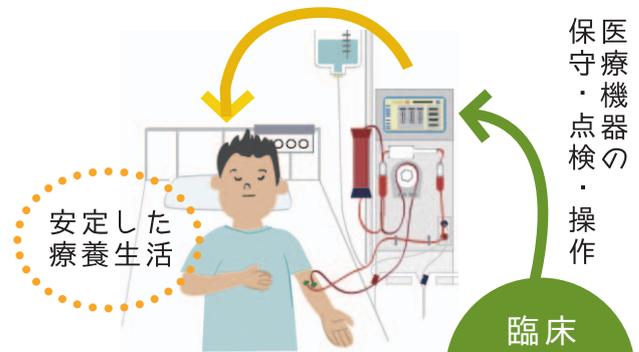
自宅へ訪問し点検も行います

## 在宅で使用する 機器の指導・点検

人工呼吸器や酸素療法機器を自宅で使用できるように取扱い説明を行います。また、睡眠時無呼吸症候群の治療に使用するCPAP（シーパップ）機器のデータ解析やマスクのフィッティング指導なども行っています。

## 患者さんと医療機器をつなぐ エンジニアとして 幅広く業務を行っています

生きていくうえで  
必要な機能の補助・代行



臨床工学技士は、1987年に制定された新しい職種です。他の医療技術職に比べるとまだ知名度は低いですが、最近では医療系ドラマ（医龍・チームバチスタの栄光）などでも登場しています。女性も多く活躍しています！

臨床  
工学技士



臨床工学技士  
花井健裕

## がん治療にも関わります



内視鏡センターにて肝臓がんの細胞を死滅させる治療の1つであるラジオ波焼灼療法に使用する機器の操作を行います。

## トピックス



花束を笑顔で受け取る井上さん

### 看護師の井上美希さん 青年海外協力隊として南米・エクアドルへ

6月30日、青年海外協力隊（JICA）ボランティアとして派遣される当院看護師井上美希さんの壮行式が行われました。当日には院長をはじめスタッフも多数参加し、井上さんに温かい励ましのエールをおくりました。井上さんは平成26年7月3日から約2年間、南米のエクアドルにて活動され、医療チームの一員として地方村落部の小学校などでの医療サービスや保健・衛生教育を計画し実施するなど様々な活動を行います。

2年後には現地での活動を無事に終え、よりたくましい看護師となって笑顔で帰国されることを願っています。

### 5月16日 南但訪問看護ステーション 日高サテライトを開設しました

平成26年5月16日に南但訪問看護ステーション日高サテライトを豊岡市日高町奈佐路に開設しました。現在は、常勤看護師4名、理学療法士2名で豊岡市（豊岡・日高・出石）を中心に訪問看護・リハビリを展開しています。利用者さんとご家族、主治医やケアマネジャー、ヘルパー、地域の方々等いろいろな人々との「つながり」を大切に、利用者さんが住み慣れた地域で療養生活を継続できるようサポートしてまいりたいと考えています。



### 6月2日～6月6日 地域の中で学ぶ「トライやる・ウィーク」

体験型学習「トライやる・ウィーク」が当院でも行われました。今年は八鹿青溪、養父、関宮、大屋の4つの中学校から10名の皆さんが参加されました。最終日に近づくにつれ病院での業務にも少し馴れ、フレッシュな明るい笑顔をたくさんの方々の部署で見せていただきました。



## 医師異動のお知らせ

【退任医師】～お世話になりありがとうございました～

平成26年4月30日付 【麻酔科】前川 信博

発行

公立八鹿病院 総務課

〒667-8555 兵庫県養父市八鹿町八鹿 1878 番地 1 TEL. 079- 662- 5555 (代) <http://www.hosp.yoka.hyogo.jp>

